

上滝発電所からの油流出事故の原因と対策について（第3報）

平成20年11月12日
北陸電力株式会社

本年10月14日に発生した「上滝発電所からの油流出事故」に関して、これまでの調査により、配管が破損した原因および発電所外に流出した経路等を特定しましたので、再発防止対策とあわせて、お知らせいたします。

今回の油漏れにより、関係の皆さま、地域の皆さまには、大変ご迷惑をおかけし、深くお詫び申し上げます。

1. 配管が破損した原因

圧油装置の振動が大きくなり、加えて配管が十分に固定されていなかったため、継ぎ手部分に繰り返し力が加わり、疲労により破損しました。

2. 発電所外に流出した経路

配管の破損により漏れ出した油は、圧油装置下のピット室（溜め升）の壁面に小さな穴（直径約5mm）があったため、そこから放水路に漏れ出しました。

3. 再発防止対策

以下の再発防止対策を実施し、油が発電所外へ漏れ出ないようにしました。

- ・破損した配管を修理し、振動しないよう固定しました。
- ・圧油装置ピット室の穴を閉塞するとともに、他に穴がないことを確認しました。

なお、圧油装置については、振動を軽減するため修理中です。

また、上滝発電所以外の発電所についても、配管に異常な振動がないこと、およびピット室等に穴等がないことを確認しているところです。

<油漏洩の概要>

1. 発見した日時： 平成20年10月14日(火)午前4時30分頃
2. 漏れた油の種類：タービン油（水車制御のための操作油として使用）
3. 漏れた油の量： 200リットル程度
4. 油漏れの経緯： 水車を操作するための圧油装置の配管が破損して油が流出

<参考 上滝発電所の概要>

- ・所在地：富山市中滝字小野海浦割3 - 1
- ・出力：9,600 kW
(1・2号機 2,900 kW、3号機：3,800 kW)
- ・発電開始年：大正13年
- ・水系名：常願寺川水系

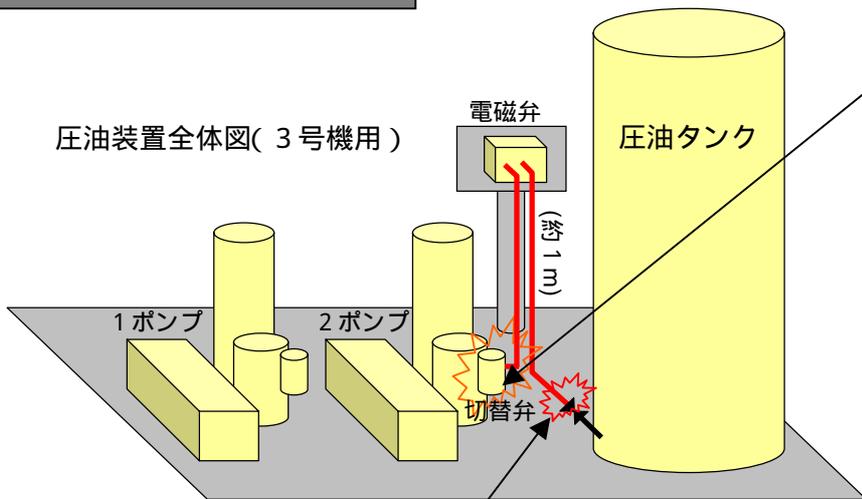
なお、圧油装置を使用していない1・2号機については、11月1日から運転を再開しております。

添付資料 上滝発電所からの油流出事故の原因と対策

以上

上滝発電所からの油流出事故の原因と対策

配管が破損した原因



・切替弁の振動が、大きくなっていました。



切替弁を修理中
(平成 21 年 1 月末まで)



破損した配管



再発防止対策

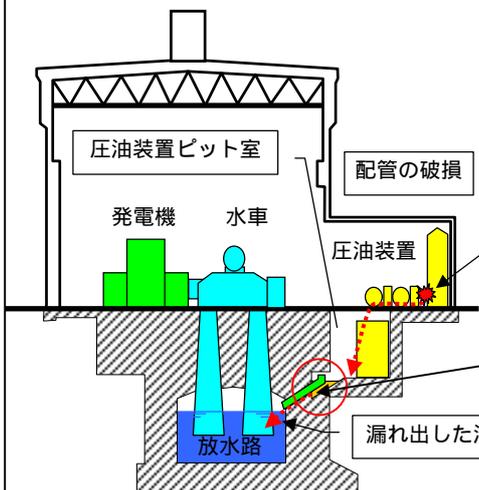
・配管にサポート(補強)を取り付けて固定した。



原因

・配管が十分に固定されていなかったため、継ぎ手部分に繰り返し力が加わり、破損した。

発電所外に流出した経路



原因

・ピット室(溜め升)の壁面に小さな穴があった。



再発防止対策

・ピット室の穴を閉塞した。
・他に穴のないことを確認した。

